

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



警告

- ・本製品は自動車整備士資格を有する方がご使用下さい。自動車整備士資格をお持ちでない方は使用しないで下さい。
- ・修理技術者以外の方は本製品の分解、修理、改造を行わないで下さい。
- ・作業方法は整備書等を確認しよく理解して下さい。作業方法が不明な場合は使用しないで下さい。
- ・本製品はブレーキフルードの交換作業に使用します。本来の用途以外では使用しないで下さい。
- ・ハイブリッド車はエア抜き作業に特別な手順が必要になる場合があります。
- ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体または物品への損害、その他いかなる損害に関しても当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますのでご了承ください。
- ・使用前に各部に異常がないかよく点検して下さい。点検を怠ると本体の損傷、破損、ケガをする恐れや事故の原因になります。
- ・本製品に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社までお問い合わせ下さい。
- ・本製品を安全に使用する為、使用環境に合わせて、安全手袋、耳栓、安全帽、作業着等の保護具を着用して下さい。



注意

- ・本体タンク及びリザーバーボトルにブレーキフルードを入れたまま保管しないで下さい。
- ・圧送圧力は 150 kPa以下で使用して下さい。圧送圧力を超えて使用すると破損の原因になります。
- ・圧送圧力が高くなる場合は圧力開放バルブを押して圧力を抜いて下さい。
- ・急激にポンピングするとホースが外れブレーキフルードが飛散する恐れがありますので、ポンピングはゆっくり行って下さい。
- ・リザーバータンクよりブレーキフルードが漏れないように十分注意してください。
ブレーキフルードは塗装面を傷めます。
- ・使用中にタンクを傾けたり、揺らしたりしないでください。ブレーキフルードが飛散します。
- ・直射日光の当たる場所での保管、タンクの圧力を抜かずに放置しているとタンクが劣化し破損する恐れがあります。
- ・使用後は必ずタンク内の圧力を全て開放してから、アダプター等を取外して下さい。
圧力を解放せず、アダプター等を外すとフルードが飛散してとても危険です。

●仕様

マスターシリンダーからブレーキシステムに手動ポンプで加圧することにより、ブレーキフルード交換を1人で作業できます。



図 1



図 2



ブリーダーボトル
ホイールシリンダーから排出される
ブレーキフルードキャッチ用
容量: 1リットル



図 3



図 4

準備

フルード交換及びエア抜きの場合車両のリザーバータンクより古いフルードをLOWレベル程度まで抜取ってください。

- 1.新しいブレーキフルードを交換に適した量をタンクに充填します。
- 2.ホースに使用する車両に合うアダプターを接続します。
廃油受けを用意してアダプターから排出するフルードを受けるようにします。
- 3.レバーを上下させポンピングして空気とフルードを排出させホース内の空気を排出します。(図1)

リークテスト

- 1.車両のマスターシリンダーのリザーバータンクのキャップを取外して車両に適合するアダプターを接続します。
- 2.レバーをゆっくりポンピングしてタンクに50 kPaの圧力を注入し、約10分間そのままにして、タンクまたはマスターシリンダーのフィラーネックに漏れがあるかどうかを確認します。(図2)
漏れがある場合は、圧力開放バルブを押し圧力を開放し、すべての接続ポイントを確認して漏れないようにしてください。漏れない事を確認したら次に進んでください。

ブレーキフルード交換&エア抜き

- 1.車両の修理書を参照して規定圧力までレバーをゆっくりポンピングして圧力を掛けます。
(圧力の掛け過ぎにご注意ください)ブレーキフルードが車両のブレーキシステムに注入されます。
※車両により規定圧力が違いますので必ず自動車メーカーの修理書をご確認ください。
- 2.車両のブレーキキャリパーのプラグにブリーダーボトルのホースを接続(図3)
※作業手順は自動車メーカーの修理書等に従ってください。
- 3.修理書の手順に従ってキャリパーのブリーダープラグを開きます。
システム内の圧力が古いブレーキフルードを排出していきます。
- 4.ブリーダーボトルのホースに気泡が見えなくなったら、キャリパーのプラグを閉じます。
- 5.四輪フルード交換している間、タンク内の圧力及びフルードの量を維持して下さい。排出量が多い場合フルードが無くなりブレーキシステムに空気が送り込まれますので交換中に圧力タンクを空にしないで下さい。
※フルードの不足及び継ぎ足しをする場合はキャリパーのプラグを閉じ、タンクの圧力開放バルブを押し、全ての圧力を開放し、上記の準備からやり直してください。圧力を開放せず、アダプター等を外すとフルードが飛散してとても危険です。
- 6.四輪すべて交換後、必ずタンクの圧力開放バルブを押し全ての圧力を開放します。(図4)
- 7.マスターシリンダーに付けたアダプターを外し、ブレーキフルードのレベルを正しいレベルに調整します。
- 8.元々付いていた車両のキャップをマスターシリンダーのリザーバータンクに接続します。

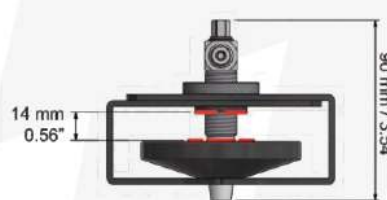
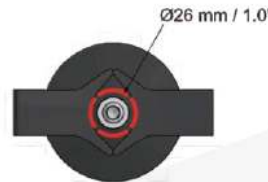
●汎用アダプター

高さ調整ネジ8mm

90°回転カップリング
幅調整ナット

ブレーキフルード
耐性EPDMゴム

調節可能な翼
材質:クロム鋼4130



・サイズ：Φ26-79mm

・最大使用圧力：150 kPa



- 1.幅調整ナットを緩めて翼の開きを調整します。(図1)
- 2.アダプターをマスターシリンダーリザーバーに取り付け、ウィングをフィラーネックに緩く取り付けます。(図2)
- 3.ネジを調整して高さを調整し、丸ナットを回してアダプターをしっかりと固定します。(図3)
- 4.アダプターをブレーキブリーダーに接続する前に、アダプターがマスターシリンダーフィラーネックにしっかりと密着して接続されていることを確認してください。(図4)
- 5.ホースに接続する時は、必ずタンク内の圧力を開放して接続して下さい。
圧力が掛かった状態で接続するとフルードが飛散します。

輸入発売元 **JTC Auto Tools 株式会社**
E" M : info@jtcautoools.co.jp
FAX : 0834-36-0010